

## 道徳の教科書が、人権教育の教科書になる。

### 一人権のための法教育の視点－

弁護士小山香（埼玉弁護士会人権のための法教育委員会）

1 道徳の教科化が2018年度に、まず小学校から始まりました。教科化には、特定の道徳的価値の押しつけがあるのではないかと危惧があります。しかしながら、文科省も道徳に、多元的な価値観を認めています。多元的な価値観を認めるということは、その前提に必要最低限の基礎となる「法の理念」「法の支配」の視点を共有することが必須です。

2 ところで、「法の理念」「法の支配」は、わかりやすくいえば、個人の尊厳に基づく共生社会の実現ということであり、これは、私たちの法教育の実践で行ってきたものです。私たち埼玉弁護士会人権のための法教育委員会は、例えばこんな風に法教育の実践を行います。さいたま市の多くの小学校では、シャープペンシルの使用禁止という「決まり」みたいなものがあります。児童に禁止されている理由を聞いてもよくわからないようです。そこで児童に向かって、先生に禁止している理由を聞いてみようという提案をします。児童は、先生から禁止する立法事実を知ります。私たちは、児童と禁止する立法事実について、話し合います。立法事実が不合理ならば、シャープペンシルの使用に関する「決まり」の立法事実を踏まえた、「決まり」の変更を先生に提案します。こうして児童は「決まり」には立法事実が必要であり、立法事実のない「決まり」は変えられることを知ります。個人の尊厳に基づく共生社会の実現を体験するのです。

3 私たちの法教育の実践の成果を、道徳の教科書の読み解きに生かすと道徳の教科書が人権教育の教科書になるのです。道徳の教科書から、以下の3つ教材について、検証を試みます。

#### (1) ブラッドレーの請求書

子どもが朝食のとき、お手伝いをしたことを理由にお小遣いを求める請求書を書いて、黙って母親の元に置いた。母親は昼食のときに黙って、求められるお金と一緒に、子ども宛の0円の請求書も置いた。子どもは0円の請求書を見て、涙があふれ謝罪し、お金を返した。

#### (2) 手品師

生活するのがやっとの腕はいいが売れない手品師が、不幸な家庭の子と出会い、手品を見せるとその子は元気になった。手品師はその子に翌日も手品を見せる約束をした。その日の夜、友人から、著名な手品師が倒れその代役を探しているという電話があった。手品師は、友人の誘いを断った。

#### (3) 星野君の二塁打

野球大会の予選決勝戦。最終回無死走者一塁、バッターは星野君。監督からはバントの指示。しかし星野君は打って出て二塁打になり、チームは勝利した。翌日、監督は「監督との約束を破り、チームの輪を乱した」と星野君を叱り、本戦の出場を禁止した。

論点としては、(1)の「ブラッドレーの請求書」は、親の養育義務と子どもの人権の問題(2)の「手品師」は、人権の原点の問題、関係修復の問題(3)の「星野君の二塁打」は、立法事実の問題、処分の妥当性の問題等です。